

白子川整備工事（その137）工事説明会のお知らせ

日頃より、皆様には東京都の河川事業にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、白子川では1時間50ミリの降雨に対応する護岸整備を進めており、このたび東西橋の上下流約60mの区間において、白子川の護岸整備工事を行うこととなりました。

裏面にあります概要のとおり工事を実施する予定ですが、着手前に工事の内容や施工方法などについて、下記のとおり説明会を開催いたします。ご多忙中のところと存じますが、ご出席頂きたくご案内申し上げます。

なお、説明会の当日までに、まん延防止等重点措置または緊急事態宣言が発出された場合には、工事説明会を中止とさせていただきますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

記

- 1. 日時 令和4年5月30日（月）午後7:00～午後8:30まで
- 2. 場所 東大泉地区区民館 説明会：1階 大広間
託児室：1階 小会議室
住所 練馬区東大泉三丁目53番地1号（下図参照）
※お車でのご来場は、ご遠慮下さい。

会場案内図



※ この地図は、国土地理院の地理院地図より引用した。（承認済）

【出席者の人数制限について】

コロナ禍での開催でありますので、感染拡大防止の観点から、出席者は各世帯お一人でのご参加にご協力をお願いいたします。規定の人数を超えた際には、入場できない場合がございますので、個別にご説明をさせていただきます。説明会の当日、発熱がある方や体調が悪い方は、ご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。

【家屋調査の実施について】

現場着手にあたり、令和4年6月より順次、家屋調査を実施いたします。調査対象範囲は、左下案内図にある工事箇所より約30mの範囲となります。また、過去に白子川の河川工事で調査いたしました家屋につきましては、調査の対象外となります。家屋調査の実施日時等につきましては、後日、日程調整をさせていただきます。

【託児保育サービスについて】

説明会の当日は、専門業者に託児サービス（生後6か月～未就学児）を委託しております。ご出席にあたり、お子様をお預けになる際には、事前にご予約が必要となりますので、(株)ネス・コーポレーション岩淵（いわぶち）03-5468-6600（平日9:00～18:00）までご連絡ください。なお、サービス水準確保のため、受け入れ人数に制限があります。

※ご質問やご不明点等については、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

（問い合わせ先）

発注者 東京都第四建設事務所 工事第二課
担当者：榎園（えのきその）・浦野（うらの）
電話：03-5978-1746

受注者 真柄建設株式会社

現場代理人：山崎（やまざき）
電話：03-5935-4626
携帯電話：090-8704-4500

白子川整備工事（その137）

工事説明会での主な質問と回答

質問1) 東西橋から下流側の施工した区間について、鋼製の管が見えるが、今後整備するのか。

回答1) 段階的に整備を行っており、中島橋まで護岸の鋼管杭（鋼製の管）を設置し、その後中島橋側から東西橋下流側へ護岸の表面をコンクリートで仕上げ、併せて河川管理用通路を整備していく計画です。

質問2) ここ数年のうちに、家屋が危険に晒されるような大雨が降った事例はあるのか。無ければ工事の必要性は無いのではないか。

回答2) 令和2年度に都内全域で、1時間あたり50mm以上の降雨が6回程度発生しています。令和元年の台風時に、多摩部や区部においても浸水被害があり、練馬区内でも1時間47mmの降雨を観測しております。近年では、全国各地で毎年のように甚大な水害が発生しており、この地域におきましても、いつ起きてもおかしくない降雨に対して整備を進めることが必要と考えております。

質問3) 工事により白子川の自然がなくなってしまうと思っているが、どのような考えをもっているのか。

回答3) 河川内での工事であるため、川底を掘削したり、濁り水が出てしまうことがございます。しかし、将来、護岸整備と併せて、川底のブロック張を撤去し、自然の土の川底とするなど、できるだけ植物の繁茂、鳥や魚たちが生息しやすい環境を形成するため、護岸整備で安全度を高めつつ、環境に配慮しながら整備を進めてまいります。

質問4) 東西橋を撤去し、迂回路ができてても毎日の利用で時間がとられる。新しく橋を架ける予定はあるのか。

回答4) 管理者である練馬区からは、現在の東西橋より20m程度上流に設置を計画されていると回答を得ています。そのため、護岸整備と併せて橋梁の新設も計画しており、今現在では令和10年頃に新設する予定です。迂回路を長期間使用していただくことになり、ご不便をおかけいたします。

質問5) 中島橋まで行って東西橋に戻りながら護岸のコンクリートを施工することだが、工事毎に護岸のコンクリートまで施工すればよいのではないか。

回答5) 東西橋から中島橋までの区間の工事にあたっては、鋼管杭などの資材を搬入できる用地が必要です。今回の施工ヤード以外にも検討をいたしましたが、上流側での用地を確保することが困難であるため、このヤードから材料を搬入し、中島橋まで護岸の鋼管杭を設置したのちに、護岸のコンクリートを施工する必要があります。

意見1) 白子川のすぐ脇に住んでいますが、過去に大雨で氾濫するには至らなかったが、怖い思いをしたことがあり、この工事は進めていただきたい。